

# 五木寛之の“歌の旅びと”（兵庫県編）

NHKラジオ  
明日へのことば  
2012年9月30日

歌は時代を越えて流れる。バックに松原健之(たけし)さんのテーマソングが流れる。

三極目の音楽 童謡の「赤とんぼ」歌 江原 陽子  
歌詞 三木 露風(出身 兵庫県) 作曲 山田耕作

兵庫県は東西に長く日本海・瀬戸内海に接している広く、歴史のある県。日本の標準時は兵庫県明石にある。

作詞・作曲の浜口庫之助も神戸出身。黄色いサクランボなど多数作曲。

岩谷時子は5歳から西宮で過ごす。神戸女学院から宝塚劇団の本「歌劇」の編集長へ。のち作詞家として頭ぬけたスーパースター。

四曲目の音楽 「夜霧よ今夜もありがとう」歌 石原 裕次郎  
作詞 作曲は 浜口倉之助

サントワマミー、愛の讃歌、夜明けの歌・・・などオーソドックス、兵庫は、神戸は海があり山があり広がりがある。伝統あるものから新しいものの両方がある。

ほかに郷ひろみ、沢田けんじ、加山雄三の「君といつまでも」などの歌も手掛けている。

古くは高田屋喜兵衛も兵庫県の出身。  
楽天の三木谷さんも兵庫出身。

一曲目の音楽 「夜明けの歌」歌 岸洋子  
歌詞 岩谷時子 作曲 いづみ たく

姫路城は美しいし、明石タコは美味しい。明石焼も有名。

歌の岸 洋子はクラシック出身でオーソドックスだが、ポプularityもあり素晴らしい！。かって銀座の銀パリ、日航ミュージックサロンで歌っていた。岸さんは背丈の高い大きな人(博多出身)で、ロングドレス着てサロンのだった。一世を風靡した人。

日本酒では山田錦、灘の生一本・・・がある。

美味しいものがあると文化が栄える？

岩谷さんの初期の頃は、「恋のパカンス」「恋の季節(ピンキー)」「おまえに(フランク永井)」「月影のナポリ(森山良子)」の作品がある。一時代を画した偉大な作詞家

五曲目の音楽 「今日でおわかれ」歌 菅原 洋一  
作詞 中西 礼 作曲 宇井あきら

阿久 悠も兵庫県出身。阿久悠さんと言えば「瀬戸内少年野球」。モダンなポップスで大活躍。大先輩から日本の演歌・歌謡曲も書かなければ一人前でないとされた。藤圭子の演歌をきっかけに「北の宿から」「津軽海峡冬景色」などの日本路線も阿久 悠の特色の一つになったきた。

宝塚の鳳 蘭さんも兵庫出身。神戸にはジャズクラブも一杯ある。

神戸淡路震災から17年、神戸は復興 新たなステージに入る。

許容性が広く、岩谷さんと共通している。神戸をはじめとして世界に開かれた土地柄か？

二曲目の音楽 「京都から博多まで」(歌 藤 圭子)  
歌詞 岩谷時子 作曲 猪俣 公章

流行歌は流れ行く姿、栄光を残している。今の若い人には藤圭子といってもわからない。藤圭子は宇多田ヒカル のおかあさん・・・といわないと分からない。

兵庫県の出身者には横尾忠則、ファッションデザイナーの高田賢三、映画評論の淀川長治。日本人に外国の映画を紹介した人。映画監督の浦山桐郎さんは「キューポラのある街」で知られる。脚本家の井上由美子も兵庫県の人。